



■2018年度の経営方針（2）

先月号の社長レターでは、新年度の経営テーマ『解決と創造の力を育む』についてご紹介いたしました。今回は、そのことについてさらにご説明したいと思います。解決と創造の力、それは日々の様々な問題を解決し、理想の未来や実現したい願いを具体的に創造していく力です。その力は決して特別な人だけのものではなく、誰もが内側に秘めているものです。ただ、多くの場合、その力は十分に活かされることなく、私たちの内側に閉じ込められたままなのです。

なぜ、私がそのように言えるかという、私も解決や創造の力が足りず、悩み苦しんで来た経験があり、その苦しみの中で大きなヒントをいただき、未熟さだらけの自分の中にも解決と創造の力があることを確信することが出来たからです。

私が教えていただいたヒント、すなわち解決と創造の力を引き出す鍵とは、自分の心のつぶやきを変えることでした。

かつての私は、大きな問題や困難が目の前に来ると「どうせ駄目だろう」「こうなったら、もうあきらめるしかない」「結局、うまくいかないに違いない」とつい心の中でつぶやいていました。それは、「こうだから、こうなるに決まっている」という心つぶやきでした。このようなつぶやきに心が支配されていると、事態の可能性を見つけ出すことはできません。これらは事態を悪化させる、暗転のつぶやきと言えるでしょう。私が教えていただいたのは、そんな状況を一瞬にして変えてしまう魔法の言葉でした。それは『そうだとすると、こうすることもできる』という言葉です。この言葉は、「もう道はない…」と思わずにいられないような時でさえ、「道はある!」と勇気を与えてくれます。そして、この言葉に導かれて、私たちは「道はどこにあるのだろうか?」と、自然に事態の可能性を探し始めるのです。まさに、光転のつぶやきと言えるでしょう。したがって、2018年の経営ポリシーは『そうだとすると、こうすることもできる』にいたしました。これからの日々、いつ何が起ころうとも『そうだとすると、こうすることもできる』を私たちの合言葉として、時にはこれを声に出し、共に解決と創造の力を育ててまいりましょう。

代表取締役社長 八木 陽一郎

